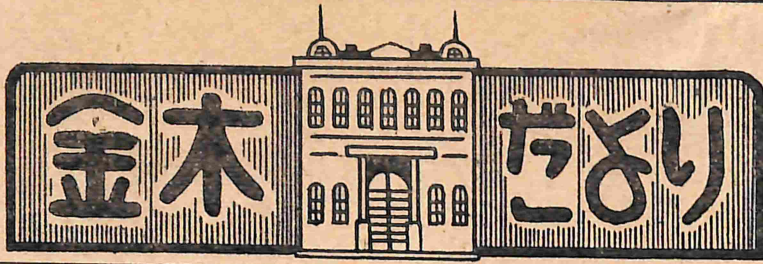


税務署からの お知らせ

申告所得税第一期分の納税は七月三十一日(土)までとなつておりますので、さきに送付した納付書を近くの銀行、または郵便局へ御持参のうえ、ぜひ期限内までに完納して下さい。

発行 青森県 金木町役場 印刷 津島印刷所



タバコは町から 買いましょう

タバコを町の店から買うと十本あたり四円二十銭余りの税金(タバコ消費税)が町の金庫へ入ります。昭和三十九年度は八百四十四万円のタバコの消費税が入り、大きな財源として、町民のみならずのために使われています。

他市町村へでかける時でも、町の小売店からタバコを買うようにすると、それだけ町が豊かになるわけです。

第35回定例町議会

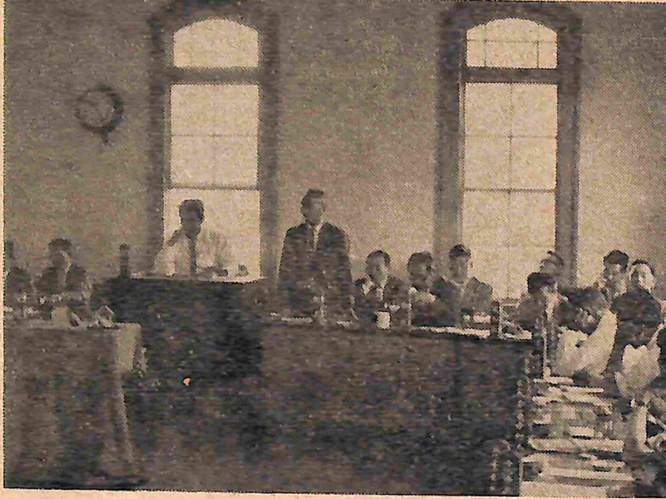
第三十五回定例町議会は六月二十六日招集され、議案熟考のため二十七日と二十八日の両日休会し、二十九日からは一一般質問と議案審議を行い、三十日午後一時、全議案を原案通り可決承認して閉会しました。

一般質問に六議員

全議案を原案通り可決

二十六日招集された第三十五回(本年第二回)定例町議会に提出された案件は、①専決処分報告の件②昭和四十年年度一般会計補正予算の件③工事請負契約の件④昭和三十九年度一般会計補正予算と町税条例の改正など、工事請負契約は統合中学校の第一期、第二期工事の契約の件です。一般質問には、六議員が登壇しましたが、この質疑応答の要旨は次のとおりです。

- ①公営住宅使用料に未納があるのは問題だ。 ②他町村より特に高いことではない。法に基づいて課税しており、また、不公平な税の取りたてられていない。 ③定期昇給は実施する考えである。 ④工事の入札については、建設審議委員会にもはかり、公平にやられた。 ⑤未納は遺憾なことなので、早急に善処したい。 ⑥伊藤清慈議員 ⑦弘大農場をもっと活用できないか。 ⑧失業対策について。 ⑨国有林の解放後の利用の構想はあるか。



【写真一質問に答える三上町長】

- ⑩生徒の学力向上対策について。 ⑪農業後継者の実習や農業の指導機関として活用していきたい。 ⑫役場に失業や出稼き問題についての相談所を開く意向である。 ⑬解放がきまれば、関係機関とよく相談したい。 ⑭当町の学力が低いことは痛感している。教育委員会などとも相談して、早急に対策をたてたい。 ⑮農業所得の増大策について。 ⑯太宰府の経費が予算よりも増加したのはなぜか。 ⑰もっと事業を積極的にやるべきではないか。 ⑱まず、水田、りんごの近代をはかり、養鶏や乳牛など畜産の導入をはかりたい。 ⑲経費が予想外にかかるとは申しわけないと思つている。 ⑳町の発展のために、事業は大いにやりたいが、財源の関係で、できない事業もある。 ㉑中村本真議員 ㉒農業の振興と関連した二次産業の振興についての町長の考えを聞きたい。 ㉓三上町長 ㉔地域の農業につながる二次産業、たとえば、りんご加工などは今のままでは無理と思う。金木町の現状から、畜産の導入がもっとも適していると思

うので、これに関連した産業の振興をはかって行きたい。

吉崎正光議員

①米価値上げの運動を町で推進すべきである。 ②ゴミ収集の処理経費を町民から徴収しないで、町が負担すべきである。 ③三上町長 ④米価の値上げ要求は町でも行なわなければならないと考えているが、今のところ行動というものは考えていない。 ⑤町費がまかなって行きたいのはやまやまだが、町の財政事情からいってもある程度の料金はとらなければならぬ。

竹内佐七工務議員

①町長はなんの事業でも、議会の決定通り行なっていくか。 ②町の三役は職員の統率、監督という点について十分でないようだがどうか。 ③三上町長 ④議会の議決はよく尊重しその決定に従っている。 ⑤職員の職務については、よく注意しているつもりです。

新行政協力委員決る

会長に小山内嘉一郎氏



【会長の小山内氏】

昭和四十年度の新しい行政協力委員が決まりました。去る六月二十五日、青年研修所で組織会を開き、会長に嘉瀬の小山内嘉一郎さん、副会長に金木から太田多吉さん、嘉瀬から鎌田福辰さん、喜良市から伊藤猪之吉さんを選びました。行政協力委員は民主的行政運営のために設置されるもので、役場と町民を結ぶ行政のかけ橋として、また、行政の推進を促すというべき任務を帯びています。ただ単に役場からのお知らせを町民にとりつぐだけでなく、町民の要望や意見などについても町に対してとりつぐ役目をもつて

だが、行き届かない点については改めて行きたい。

議員さんたちの 研修会

北郡町議会議長(会長) 秋元正衛金木町議会議長(会長) 七月十一日、金木中学校講堂で、議員としての資質を高め、住民に対する奉仕にいつそうの努力をしようというところで、北郡町議員の研修会を開きました。

秋元会長の開会の挨拶、三上町長、花田、鳴海両果会議員のお祝いのことばに続いて、陸奥新報社編集局長林達夫氏の「ベトナム問題の周辺」、東奥日報社論説委員長尾崎竹四郎氏の「国際問題の考え方」という講演があり、集まった一六〇人の議員さんたちは熱心に聞き入っていました。この研修会の合い間には金木婦人会の「金木音頭」の踊りと、嘉瀬の奴踊りの披露があり、拍手を浴びていました。

- 金木地区 本町 外崎秀雄、中村くに 栄町 山田三太郎、菊地タ 田町 鳴海勇治、田中タミ 南新町 米谷国雄、中谷フ 上山道町 角田源三郎、三 上山道町 田中多作、山田 中下道町 田中又四郎、角 下下道町 田中又四郎、角 田中 昭和田 工藤日成、葛西信 神明町 片岡八千雄、中村 ヤエ、伊藤とし子 朝日町 秋谷正一、白川き え、斎藤せつ 北新町 高橋勝治、長尾ヤ 小川町 一区 新岡慶一、田 村ミチエ 小川町 二区 池田喜貞、新 岡富美 米町 夏坂富治、野宮リセ 川端町 徳田万之丞、下田 オバ 寺町 楠美留三郎、沢田ト 寺町 今武美、沢田キエ 芦野浦町 沢田久太郎、沢 田クニ 新富町 沢田茂昭、丹場ミ ツエ 若松町 太田多吉、波利摩 義雄、丸山千代、津 島よし、成田つわ 見崎町 算用子男五郎、白 川ツマ 三軒町 白川勝雄、木下キ セ 上沢部 白川定道、福長美 好 下沢部 白川永一、白川ト シエ 上藤田 田中重正、白川タ ネ 下藤田 佐藤多八郎、吉田 キサ 神原 三上米次郎、前田ト キサ 上藤枝 小山内市男、原田 りね 中藤枝 工藤繁次郎、原田 きな 下藤枝 工藤繁次郎、今リ セ 湯の川 中谷敏雄、古川ソ セ 林町 白川義佐義、秋元サ キ 向道 大佐賀春男、外崎サ ダ 女坂 中谷孫一、泉谷良子 上宇田野 中谷一郎、工藤 サミ 下宇田野 金島永吉、三瀧 ソワ

人口動態 (昭和40年6月)
男女計 17,160人
区分 金木 嘉瀬 喜良市 計
人口 9,244 4,244 3,495 17,160
世帯 1,767 868 624 3,259
出生 21 10 7 38
死亡 4 2 2 8
異動 転入 21 6 6 33
転出 41 9 10 60
婚姻 31 6 4 41
離婚 2 1 0 3

一、趣旨 社会を明るくする運動は、国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、進んで、それぞれの立場において力をあわせ、犯罪のない明るい社会をきずこうとする全国的な運動である。
二、名称 第一回「社会を明るくする運動」を明るくする運動
三、重点目標 「暴力の排除と更生保護の強化」
地域社会における暴力排除の機運を一層高め、暴力犯罪とくに組織暴力の絶滅を期することとし、あわせて、国民の理解と協力のもとに、これからの組織暴力の温床となる非行青少年に重点を置き、

参院選投票区別 投票率調べ
7月14日行なわれた参議院議員選挙の投票区別の投票率は次のとおりです。
投票区 当日の有権者 投票者 棄権者 投票率
1(金木) 3,495 2,316 1,179 66.27%
2(川倉) 948 534 414 56.33
3(時神) 517 364 153 70.41
4(嘉瀬) 2,608 1,478 1,130 56.67
5(喜良市) 1,915 1,183 732 61.78
6(大東ヶ) 84 62 22 73.81
計 9,567 5,937 3,630 62.06

昭和39年度金木町一般会計決算

1. 才 入		(見 込)		
区 分	予算額	調定額 A	収入額 B	収入歩合 B/A
町 税	51,387	56,134	54,254	96.7
地方交付税	77,073	77,073	77,073	100.0
分担金負担金	3,360	3,412	3,440	100.8
使用及手数料	3,039	2,988	2,970	99.4
国庫支出金	21,480	20,117	20,117	100.0
県支出金	3,899	3,944	3,944	100.0
財産収入	3,075	2,800	2,800	100.0
寄附金	453	450	450	100.0
繰越金	1,068	1,068	1,068	100.0
諸収入	2,265	2,429	2,429	100.0
町 入 合 計	186,848	188,918	187,048	99.0

2. 才 出		残 額 A-B		
区 分	予算額 A	支出額 B	残 額 A-B	残 額 千円
議 会 費	9,895	9,826	69	
総務費	46,687	46,159	528	
衛生費	17,990	17,580	410	
労働費	8,557	8,451	106	
農業費	661	658	3	
林業費	16,393	15,985	408	
水産費	4,103	4,072	31	
工業費	22,894	22,825	69	
土木費	3,673	3,556	117	
防衛費	38,296	37,732	564	
復旧費	9,796	9,796		
災害費	9,535	8,877	658	
公債費	2,732	2,669	63	
支 出 合 計	191,348	188,186	3,162	

昭和三十九年度の金木町の一般会計は五月いっぱいに出納閉鎖し決算のとりまとめ作業を進めてまいりましたが、このほどその見込額がまとまりました。これによると、才入総額一億八千七百四十八千円、才出総額一億八千三百六十八千円、差引三百八十万二千円の黒字となっています。

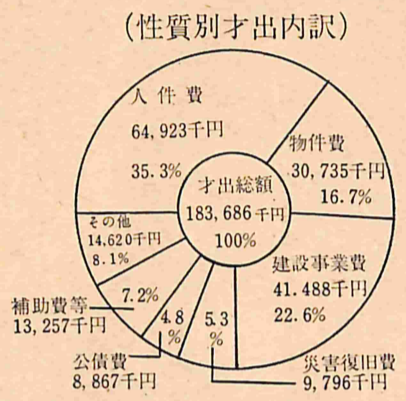
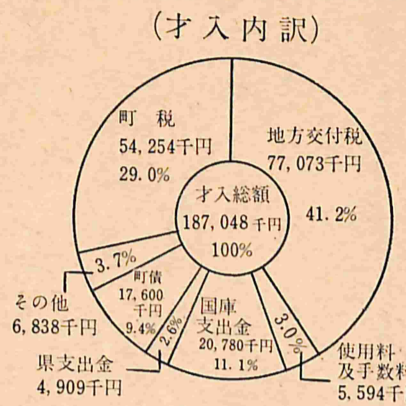
昭和39年度 決算見込まとまる 一般会計

向上した納税成績

三百三十六万二千円の黒字

才入
まず、才入の内訳をみる。地方交付税が七千七百三十三千円で全体の四一・二%を占め、一番多く、続いて町税が五千四百二十五千円で二九・〇%、国庫支出金が二千二百一十七千円で一二・四%となつています。さらに町税の内訳をみると、町民税が調定額(課税総額)一千五百二十八万一千円に対して収入額が一千

才出
一方、才出についてみると、款ごとの支出額は左表の通りで、予算額一億九千五百三十三千円、公営住宅建設八百六十六万、教職員宿舍建設二百六十万、藤田小学校特別



教室増築百八十万円、金木中学校特別教室増築三百五十万円の計です。なお才出を性質別にわけると、人件費が六一・九%、三千万で全体の三三%を占め、ついで物件費が三〇、七三五千円で一六%、建設費が五一、二八四千円で二七%となつており、職員給与引き上げなどにより人件費が増加したことが目立っています。

清久溜池のグラウト工事完成
水もれが激しく、毎年水田のかんがいに支障をきたしていた清久溜池(代表者津田孫市、関係戸数一三〇戸、関係面積六二町)のグラウト工事(セメント注入)は町営事業として、三月十日から予算二二〇万円で工事にとりかかっていたが、六月三十日完成し、関係者から喜びこぼれています。

統合中学校舎 建築起工式
嘉瀬中学校と喜良中学校を統合した金木南中学校舎の建築工事は、東京大木組の手によって進められていますが、町では、きたる三十日午前十時から建築現場と嘉瀬小学校講堂に町や町の関係者多数を呼んで起工式を行ない、工事の達成を期しています。

農事特別指導月間情報 自7月20日 至8月20日 金木町不順天候対策本部
早期防除につとめよう 葉いもちの早期発見
作業の重点
稲の生育はやや軟弱であるがほぼ平年並に達しているこの期間は、葉いもちの発生期にあたるほか、これから穂ばらみ期にかけて水管理の最も大切な時期である畑作物では、じゃがいもの疫病防除と、むぎ類の適期刈取りが重点となる。

1. 水稲
 1. 葉いもちの早期発見と早期防除
葉いもちの発生期に入ったので下葉に注意し、早期に発見して見つけ次第に徹底的に防除する。なお、葉いもちは首いもちの前ぶれでもある。
 2. 水管理の徹底
幼穂形成期にはいるので、畦畔水路を整備し、やや深水(6cm位)とする。平均気温20度(摂氏)以下の日が続くような場合は10cm以上の深水にして、幼穂を保護する。
2. 畑作
 1. じゃがいもの疫病防除
生育が軟弱なのに加え降雨が多い見込であり、疫病の多発生が予想されるので1週間おきに7月末まで3回防除する。降雨後急激に発生するので雨天が続くときは、雨の晴間を見て薬をかける。

基幹青年を囲む座談会

農業の近代化に 活発な意見
座談会は、基幹青年と、農業委員会から花田会長、小野事務局長、役場から三上町長、工藤産業課長、山中社教主事、青年婦人の側から毛内連合青年団長、安田金木婦人会長、農業改良普及所から館山技師が出席して開かれ、「移動農業大学に学んで」というテーマについて、「一年目は世界の経済の情勢や日本の農業の動向について大体的方向がわかり有意義であった。」(中谷肇、泉谷)、「二年目は技術的な面でも収穫が多かった。」(泉谷)、「若い人たちがいっしょけんめい勉強しているのだから、これに對して、「若い時の勉強は将来必ず報いられるから、今のうちに大いにがんばってほしい。」(三上町長、工藤産業課長)という助言がありました。

農業の近代化については、「農業の近代化はぜひ必要だが、そのためには金が必要である。農家は経済基盤が弱いから、政府がもっと補助なり、利子補給をすべきだ。」(中谷肇、吉田意智男)「農家の一番の悩みは、農産物の価格が低く、しかも不安定だということである。たとえは、飼料のねだんは上がっているのに、卵価が下がっている。米が値上がりして

も、他の商品もそれ以上に上がるからなんにもならない。」(中谷不二吉)「農業の近代化をはかるためには、まず農業者の頭のきりかえ、つまり、農民意識の向上が先決であると思う。」(山中社教主事、安田婦人会長)「農産物価格が低く不安定だということは、主に流通機構が悪いためである。公営市場の開設などの

方法で解決しなければならぬ。」(花田会長)という発言がありました。座談会は八時過ぎに終了したが、出席者からは、このような話し合いは非常に有意義だから、これからも開いてほしいという意見が多くあつた。

米の予約申込は 八月三十一日までに 昭和四十年産米の価格は石当り一六、三七五円に決定になりましたが、政府定率予約申込期限は八月三十一日までです。期限内に予約すると、概算金一俵当り一、〇〇〇円支払われます。七月十三日現在で、当町の予約申込数は九三、六七七俵ですが、この内訳をみると、農協系四六、三五七俵、商人系四七、三二〇俵となつています。

農林委 集団養鶏を視察

小田川ダム 負担金の 軽減など陳情
農林委員会委員の岡山久吉委員長以下十四名は、地元から花田・鳴海両県議を加えた一行十六名は、七月十二日、金木町を訪れ、県の集団養鶏地帯造成事業の指定を受けて実施した金木農協の育すうセンターと県行造林地を視察したあと、地元との関係の陳情を受けました。

日赤募金の 目標額にあと一歩
今年度の金木町の日赤募金の目標額は二七八、二五五円ですが、七月十六日現在で一九五、五〇〇円集まりました。目標達成にあたり、少額ですが、行政協力委員会が協力を下さるようお願いいたします。



【写真】座談会に出席した基幹青年たち



【写真】育すうセンターを視察する一行

ゴミの処理料金について
行政協力常任委員会などとも協議の結果、各町内